

富士河口湖町立 教育センターだより

No.25



平成28年3月18日 文責 中澤 敦子

一年間ありがとうございました

3月15日（火）に第2回運営協議会が行われました。

本年は、中央公民館内への移転1年目ということで、円滑なセンター事業運営について幾らかの不安があったものの、滑り出してみると、学校教育課を初めとする様々な機関との連携が取りやすい上、中央公民館の恵まれた施設は教育相談室にとっても有効なものとなりました。



3年目を迎えた富士山学習研究会は、富士山科学研究所との連携の下、各校で富士山学習の充実と開発という成果を上げることができました。

地域を生かした体験学習として行われた5年生対象の川の学習、3、4年生を対象とした木工の学習は、教師の指導準備の軽減・子ども達の体験学習の充実が図られました。

夏期休業中を利用し行われたカウンセリング講座を初めとする教職員の研修では、現場の先生方が抱えている問題を共有し、多くのスキルを学ぶことができました。また、電子黒板機能付きプロジェクターの導入に伴う情報機器及びデジタル教科書活用研修会では、子ども達に分かる授業を展開する幅を広げる見通しを持つことができました。

教育相談業務では、児童生徒のみならず保護者の相談を積極的に受信してきました。不登校解消の支援体制は家庭・学校・教育委員会・SSW・福祉推進課等と連携し根気強く行われました。

そして、代替職員派遣については、教師が安心して教室を開けられるように、担任を含めた児童への支援を行い、学力保障の一端を担うことができました。……etc

昨今、教育現場の抱える課題は多岐に及び、学校だけでは対応しきれない現状があります。何が必要で何が早急に対応しなくてはならないのかを学校と共に考え、コーディネーターとして後押しを絶やさないという点で教育センターの役割も増えています。そんな現状を御理解いただき、更にはそれぞれの立場で改善点を示していただくことから、この運営委員会の存在はとても大きいものなのです。

本日の会議においては、センターの立地を生かし、具体的な保幼小中・及び関係機関との連携体制を構築すること、また、教育相談・教職員研修を推進していくことが大切であることが確認されました。

本年度の教育センターへの御理解と御協力に対し改めて感謝すると共に、次年度も引き続き、その責務を果たせるよう頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

わたしに会えてよかった

胸の鼓動も ときめきも わたしがいて気づいた

だれも知らない音だけど

私の殻をやぶる音 今日からはじまる 何かいいこと

高村もと子「今日からはじまる」より

センターを築立つ子どもたちへ